

沖縄高専

図書館だより

第7号



琉球大学びぶりお文学賞詩部門で受賞した（左から）宮里春奈さん（生物4年）、金城絵音さん（メディア4年）

目次

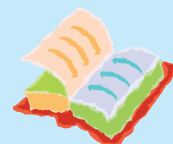
図書館トピックス・教員コラム	P2
ブックハンティングに行ってきました！	P3
「新入生に告ぐ！ー基礎を学びたいならこれを読もうー」	P4-5
私の国の図書館	P6
教職員執筆図書	P7
2014年度貸出状況まとめ・学生図書委員長のコメント	P8

想像し創造する力を

図書館長 網谷厚子

夏目漱石は『虞美人草』で、「詩人の食物は想像である」と書いている。私は授業で、「想像できるものは創造できる」と学生たちに「ハッパ」をかけている。何も持たない「無力」の人が、天地を縦横に駆け回り、過去未来へと自在に飛び立てるのは、「想像力」のなせるわざである。新しいものとの出会いに、果敢に挑み続けるものだけが、それを可能にする。

今まで慣れ親しんだ世界だけではなく、まだ見ぬ、触れたことのない世界にも、ほんの一足でもいいから、踏み込んでみてはどうだろう。勇気を出して！ 強靱な想像力で、未知のものを創造していくために。



図書館トピックス

■インターネット選書

6月18日(水)～6月30日(月)にかけて、インターネット選書を実施しました。学生図書委員が代表となり、各クラスで希望のあった図書をインターネットで選定しました。書店で直接選ぶ場合とは違うため、ネット上のレビュー等を参考にしながら、150冊の本を購入することができました。



■図書館開放

2014年はオープンキャンパス(6/28)、サマースクール(7/26)、高専祭(11/8・9)に図書館を開放しました。特別展示や図書館クイズ、利用者証の発行サービス等を実施し、計1,311名の来館者がありました。沖縄高専図書館は一般の方へも開放しており、通常期は土曜日も開館しています。もちろん平日も利用できますので是非お気軽にお越しください。



■「やさしい絵本から始める英語多読」講座開催

6月28日(土)に本校図書館において、一般市民を対象に「やさしい絵本から始める英語多読」講座を開催しました。中学生から60代まで幅広い年代の方が参加し、総合科学科英語担当の先生方の指導のもと、英語を交えながらの説明や質問、また、多読の成果を仲間陽香さん(メディア2年)、藏屋眸さん(生物4年)が発表するなど、充実した時間を過ごしました。



■図書館企画

図書館では、学生の皆さんの学習や学校生活に役立つよう「学生図書委員お薦め図書」「2014年ベストリーダー15」「学科別図書ベスト15」などの図書館企画を行いました。また、今年は年間を通して国立女性教育会館女性教育情報センターの「パッケージ貸出」を利用し、男女共同参画に関する様々な分野の図書を提供することが出来ました。



教員コラム

私の本棚

第7回 三枝隆裕 (生物資源工学科教員)

「本で生活が変わる!？」

私の書棚を覗いて見ると、人と付き合う法や80を切るゴルフなどのハウツー本が多く並んでいる。このうち私の生活を最も変えたハウツー本は「禁煙セラピー」、この本で禁煙して6年が経ち、身体にエネルギーが戻った。大学時代、マージャンをしながら1本が2本、2本が3本と覚えて行ったタバコ、50歳では、一日に2箱と言うヘビースモーカーになっていた。学生から「先生、タバコ臭い」と言われ、何回か禁煙に挑戦した。マーク・トウェインの「禁煙なんて簡単さ。私は千回も止めて来たのだから」と言うジョークさながら、パイポ、ニコレット、ニコチンパッチなど色々試しましたが1週間で逆戻り。そんな折、出会ったのがアラン・カー著の「禁煙セラピー」だった。喫煙は、ニコチンの巧妙な罠にはまり、飢えた小悪魔に餌をやっているだけのこと、ニコチンの血中濃度が下がると不安になって吸いたくなるだけのこと。タバコは、実際にはリラックスできず、集中力が落ち、退屈感が増し、ストレスや緊張感も増す、依存性の高い麻薬である。タバコの本当の姿を脳に理解させ、禁煙とは罠から抜け出す楽しいことと認識することで、精神力によらず自然に禁煙することができた。もしあなたが禁煙したくなった時には、この本のことを思い出してください。



■ブックハンティングを実施しました！

2014年11月10日（月）、図書館の一大イベントであるブックハンティングを実施しました。学生図書委員はクラスで希望があった本の他、書店に並んでいる本から興味のあるものをじっくりと選び、小説から専門書まで幅広いジャンルの本を「251冊」購入しました。学生の意見が図書館の蔵書に直接反映されるいい機会となりました。



新垣涼香（メディア1年）

私が今回のブックハンティングに参加して印象に残ったことは、図書委員のメンバーがそれぞれ幅広くいろいろな本を選んでくれたことです。当初は「高専生だし、情報系の本が多いのかな？」と思っていましたが、実際に本を選んでみると普段はあまり読まない分野の本にも興味が湧いてきて、最終的には本の展示の仕方に皆で頭を悩ませるほどバラエティに富んだ本が集まっていました。おすすめの本ばかりなので、沢山の人は是非読んでみて欲しいです。

安慶名雄大（メディア2年）

ブックハンティングは、毎年私が楽しみにしている行事の一つです。自分のリクエストした本を図書館に入れてもらう事ができ、しかも図書委員ならジュンク堂まで行き、自分が現地で選ぶこともできる。図書館にある小説の続きや、普段自分では手の届かない高い専門書など。何をリクエストし、現地で何を買うか、そうやって迷いながら本の事を考えている時間はとても楽しかったです。来年もまた図書委員になり、参加したいと思います。

貝盛陽平（メディア1年）

ブックハンティングでは、新たな沢山の本に出会うことが出来ました。本来買う予定になかったものも、いざ書店に行ってみると面白そうな本がたくさんあり、お陰でどれを買おうか非常に迷いました。買うことを断念した本の中にも、欲しい本はたくさんあったので、後で個人的に買うのもいいかなと思いました。本に触れている時間はそれだけでもとても楽しいです。また来年もブックハンティングに参加してみたいなと思いました。



森岡拓海（生物4年）

図書委員になったときの特典の一つで、図書委員はブックハンティングの一環として、那覇市のジュンク堂で図書館に入れたい本を購入することができます。今年のブックハンティングでは、沖縄高専ではレア度が高い読書好きの人達と話しながら、普段行かないような、料理や歴史や甲殻類のコーナーなどを見て回りました。初めて覗いた本棚は、とても楽しく新鮮な気持ちにさせてくれました。

島袋友美（生物5年）

ジュンク堂は私の家から徒歩15分の位置にあり、中学生の頃からよく足を運んでいます。どこにどの種類の本があるか自分の家のように分かるため、ブックハンティングの際には欲しい本を難なく探すことが出来ました。学校の企画で訪れることは今までに無かったので、いつもとは異なった新鮮な気持ちで本と接する機会になりました。最終学年で初めて図書委員となったため、ブックハンティングも初めてでしたが、大好きな本と関わることの出来る仕事の一つとして楽しめました。

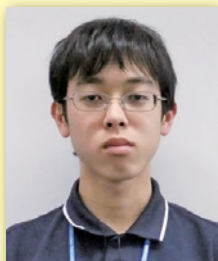
新入生に告ぐ!

～基礎を学びたいならこれを読もう～



Check It Out!

授業でつまづかないために
先輩から後輩へお薦めの図書



神谷全俊 (メディア 3年)

今回、メディア情報工学科の「新入生に読んでもらいたい本」ということで、自分が紹介したい本は『苦しんで覚えるC言語』と『基礎数学(高専テキストシリーズ)』です。最初に、『苦しんで覚えるC言語』の紹介をします。この本は、このようなタイトルなので本を開く前から読む気がなくなってしまう人が多いと思いますが、実際の内容は、重要なキーワードや文は文字色を変えてあったり、正しく理解しているか確認するための練習問題が作られていたりして、他のC言語の本に比べてもわかりやすい方だと思います。メディアでは、少なくとも3年間はC言語と関わらざるをえないので、最初である程度C言語について知っておいたほうが良いと思います。この本は、C言語に触れたことがない人が読者になることを想定して書かれている上に、メディアの学生が2年生までに習うC言語の内容がほとんど書かれているため、読んでおけば、これから先のプログラミングの授業がだいぶ楽になると思います。



「苦しんで覚えるC言語」

次に『基礎数学(高専テキストシリーズ)』の紹介をします。この本のシリーズは、「高専テキストシリーズ」と書かれている通り、高専の数学の範囲を学習できるようになっています。この本では、沖縄高専の1年生が受ける基礎数学Iと、基礎数学IIの前期から後期の中間辺りまでの範囲について書かれおり、図が多く使われ、数学が得意でない人でもわかりやすくなっていると思います。また、この本に合わせて書かれた『基礎数学問題集』も図書館にあるので、学んだことの確認もできます。「高専テキストシリーズ」では、数学の授業で習う以上の内容について書かれている本と問題集もあるので、この本が読み終わったらそちらを読んでみるのもいいと思います。ここまで自分の「新入生に読んでもらいたい本」を読んでくれてありがとうございます。これらの本がこれから先の学生生活の助けになると嬉しいです。



「基礎数学」



「基礎数学問題集」



新垣雄大 (機械 3年)

この本のタイトルにもなっている『失敗学』とは、過去に起きた事件や自己を分析し、原因を探し、そこから失敗しないためにはどうすればいいのかが対策を考えることをいいます。この本には「失敗を真正面から見据えようとするアメリカは、免責を条件に、失敗の真の原因を炙り出す司法制度という独特の法制度を備えています」という一文が載っています。知識を共有することで次の失敗を予防し、損失を最小限に抑える方法について書いている『失敗学』。高専生なら、ぜひ読んでください。



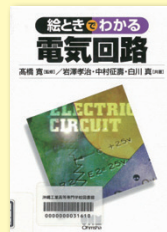
「失敗学のすすめ」



稲嶺翔弥 (情報 3年)

私が紹介する本は『絵とときでわかる電気回路』です。2年生になって“電気回路”という科目を学ぶのですが、この“電気回路”、今までやってきたどの教科のどの科目でもやってこなかったような内容になっていて、なかなかうまく理解することができません。私の場合、テスト前に友人の部屋に訪問して分からないところを教えてもらったり、過去問を解いて勉強していましたが、この勉強法だとなかなか自分の身につかず、

テストが終わって2週間もすればきれいさっぱり忘れていたなんてこともザラではありません。今回この場で本の紹介をさせていただく機会をもらった時、どんな本を紹介しようか迷い、図書館の中を行ったり来たりしながら探していました。そんな時にたまたま手に取った本が『**絵ときでわかる電気回路**』という本です。タイトルにあるように、特徴として絵が大きく書かれており、非常に見やすく、分かりやすく構成されています。私がこの本を紹介しようと思った最大の理由は、**教科書よりも分かりやすい**、又は、**途中で飽きてしまうような面白みのない本では無い物**ということでした。図書館にある“電気回路”関連の本の多くは、教科書と話や構成などが同じであり絵や文字が小さくて読みにくく、また、難しい理屈をだらだらと書き綴っているような本ばかりでした。別に教科書がダメということではありませんが、初心者だと辺に小難しい話をされると次第に飽きてくるので、できるだけ分かりやすく、そして簡潔に書かれている本を探していました。そういう意味ではこの本は私の条件を全てクリアしていました。新入生の皆さん、2年生に進級する前に、もしくは2年生の“電気回路”でつまずいたときにこの本を思い出していただけたらと思います。



『絵ときでわかる電気回路』



仲田 鈴 (生物3年)

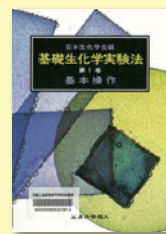
私は生物資源工学科の学生なので、生物資源工学科1年次のときに読んでおいた方がよいと思う本をいくつか紹介します。1冊目は、『**溶液の化学と濃度計算：演習：実験・実習の基礎 / 立屋敷哲著 (431.3/Ta15)**』です。この本には、mol、中和反応、濃度計算、pHなどの1からの解説や公式、計算の仕方の解説はもちろん、練習問題までついているので、これからの実験で必ず必要になる計算の仕方を学ぶ事が出来ます。さらに、半分は計算ドリルのようなものなので、定期試験のテスト範囲にこのような計算が入っている時の試験勉強にも役立つこと間違いナシ！2冊目は、『**イラストで見る化学実験の基礎知識 / 飯田隆 [ほか] 編 (432/I63)**』です。この本では全実験に共通する注意しなければいけないことなど、実験の基本的な事や濃度計算などの事も書いてありますが、一番の特徴は、マイクロピペットの使い方が絵付きでより詳しく解説されてあること、ガラス器具名称が絵付きで分かることです。ガラス器具の名称が書いてあることの利点は、1年生の最初の実験とき、実験器具の名称を調べる講義があったので、それでこの本を使うと便利だと思うからです。後、マイクロピペットの使い方が絵付きで書いてあることの利点は、マイクロピペットという実験器具は、いきなり使いこなせといわれると少々難しい実験器具ですが、1年生であってもよく使用し、さらに学年が上がるにつれ実験が増える生物生には必ずと言っていいほどほぼ毎回使用します。1年生初期のときに使い方を覚えておくとその後の実験に余裕ができ、より良い実験が出来るようになるので、この本で使い方を予習しておくことをオススメします。他にも、統計処理の仕方や文献の探し方が書いてある『**基本操作 / 日本生化学会編 (491.4/Ki59/1)**』や、液体試料を量る様々なガラス器具の違い、廃液の処理の仕方、機器の使い方&注意などが書いてある『**理工系化学実験：基礎と応用 / 坂田一矩 [ほか] 編 (432.075/Sa37)**』などもオススメです。とくに請求記号が「432」である本は基礎を纏めてある本が多いので、基礎的な物を知りたいならば、そこから本を探してみるとよいでしょう。私のクラスメイトからのアドバイスとして、自分の世界を広げるために様々な専門書を読んでみるのもオススメです。沖縄高専の図書館には、「クマムシ」や「キノコ」、「プラナリア」などの“個人的な趣味で置いてある本”もあるので興味があったらぜひ一度読んでみてください。



『イラストで見る化学実験の基礎知識』



『溶液の化学と濃度計算』



『基礎生化学実験法：基本操作』



『理工系化学実験：基礎と応用』

こちらで紹介している本は全て貸出できます。皆さんも是非、図書館に足を運びましょう！

私の国の図書館 留学生の皆さんの国の図書館の様子を聞いてみました！ (ほぼ原文のまま掲載しています。)



サニー スジャトミコ ハルタント (機械3年) インドネシア出身

皆さん、こんにちは、3年生機械システム工学科のサンニです。今回、私の国の図書館を紹介する機会をいただき、ありがとうございます。私はスラバヤのインドネシアの"Saint Louis 1"という高等学校の卒業生です。その時の学校の図書館は「図書館」という言葉はほとんど言えません。なぜかというと、私とみんなにとって、学校内では図書館はただ涼しい所で、いつもエアコンがついているからです。インドネシアも暑いから、その時も、図書館に行く目的はほとんど涼しい所に行きたいです。それだけではなく、その図書館の本も古い本ばかりで、本の状態もあまり良くないし、ボロボロだし、本当に最低だなと思います。勉強したいなら、クラスとか家で勉強した方がいいです。その時、私にとって、「図書館」という言葉はないと思いました。ですが、日本に来て、沖縄工業高等専門学校に入学して、初めて「図書館」という言葉はあると思います。沖縄高専の図書館は本当にいい所です。新しい本も結構あるし、本の状態も綺麗だし、いろいろな設備とかも結構あります。それだけでなく、勉強したいなら、図書館で勉強した方がいいかなという思いが初めて出ます。私にとって、部屋とか家に勉強したら、絶対できないからです。特に試験期間とか図書館で勉強した方がいいです。分からないことがあったら、すぐにしらべられます。本当にいい所です。このような、恵まれている学校に通って、本当に感謝します。それだけではなく、インドネシアの図書館もこんなようになってほしいなという気持ちもあります。図書館というのはただの涼しい所じゃないよ～



ソン トウヤイ (生物3年) ラオス出身

初めまして。ラオス出身のトウと申します。留学する目的の一つは、その国から自分の国を見ることです。そして、もう一つはその国の文化や技術などを勉強して、自分の国の問題を解決することです。沖縄高専に来て、自分の国の教育環境と比較したらいくつかの違いがあります。その違いの一つは図書館です。これから私の国の図書館はどんな図書館なのか少し話したいと思います。ラオスは発展途上国で、まだ十分な教育環境が整っていません。国内での学校や先生はまだ足りない状態です。それに、村に図書館や学校図書室が全く無い地域が多く、本といえば教科書しか読んだことがない学生も少なくありません。本に触れる機会が少ないことは学生たちの文字の習得にも少なからず影響を与えます。ラオスにいた時、私の学校は国内の全学校と比べて、少し教育環境レベルが高いと言われていました。そこには図書館がありますが、様々な本、新聞や雑誌などが少ないし、高専の図書館のようにエアコンが設備されなく、うちわぐらいです。また、高専の図書館のように学生が自分のカードを利用して、本を借りることはできません。本を借りたい時に図書館のスタッフに持って行って、自分の名前や学籍番号を書いてから借りるようになっています。設備の差を見ても高専の図書館と比較したら不便です。沖縄高専に来て、こんな高専の図書館があるのはとても勉強できる環境だと感じ、良かったと思います。みなさん、図書館を大事に使って、自分の知識や視野を広げて、自分の国や、世界の人々を助けましょう。

教員執筆図書紹介



図書を出版された先生方で自身に図書紹介をしていただきました。ここで紹介されている図書は、すべて図書館に所蔵がありますので、是非ご覧になってください。

姉崎 隆 (メディア情報工学科)

『電気学会論文誌 D(産業応用部門誌)
Vol.135 No.2(2015)
特集: Okinawa 型ロボット組み込みサ
スティナブルシステム』



電気学会 Okinawa 型ロボット組み込みシステム協同研究委員会が主催する研究会にて発表された数多くの論文をベースとし、今回の論文誌特集号向けに応募投稿された論文より小職が編集したものです。前回(2013年2月)の「Okinawa 型ロボット〜」特集号に続き第2弾となります。詳細は小職が記した冒頭の解説論文をご覧ください。Okinawa 型ロボット組み込みシステムの取り組みが纏めてあります。厳正な査読を経て10件の論文が採録されています。また、2016年10月に続編の論文誌特集号を発行することが電気学会より承認されています。ご期待ください。

下郡 剛 (総合科学科)

『沖宮順治十七年石碑: 沖縄県那覇市沖宮
所在仏教関係石碑四基の発掘調査記録』
(日本史史料研究会)



平成二十四年、科研費研究「沖縄県外史料の蒐集と分析に基づく近世琉球寺院の社会的機能の解明」(代表下郡)の一環として、分担研究者林譲(東京大学史料編纂所教授)、研究協力者生駒哲郎(同所職員)両氏とともに沖宮を訪問したところ、近世期の石碑四基を確認した。その後の調査で、石碑二基は戦後所在不明になっていたもので、もう二基は新発見の石碑であることがわかった。その上、石碑の土中埋没部分に文字があることも確認した。そこで琉球大学考古学研究室、那覇市文化財課、那覇市歴史博物館の協力をうけて平成二十五年に発掘調査を行った。その時の調査記録であり、現状を画像として後世に残すことを目的に刊行した。

著作物寄贈のお願い



図書を出版された教職員の方は、図書館にご寄贈くださいますようお願いいたします。

星野 恵里子 (総合科学科)

『アイルランド文学—その伝統と遺産』
(開文社出版)

担当箇所: 第28章「カハール・オシャルキー アイルランド語で執筆するという—男が男を愛する詩—」



以前は「イギリス文学」の一部として扱われてきた「アイルランド文学」であるが、昨今では、それはアイルランド固有のアイルランド語による文学と、英語を用いた文学の伝統から成立している、という視点から語られるようになってきた。本書ではその立場を踏まえて、初期アイルランド文学から、英語によるアイルランド文学、さらにはアイルランド語による現代アイルランド語詩まで扱っている。星野が取り上げた詩人カハール・オシャルキーはアイルランド語の持つ特性を最大限に生かし、その様々なイメージを作品に織り込むことに特徴がある。そして、カトリックという土壌にありながら、ゲイであることを公言している詩人の、英語では成立しえない作品の豊穡性について論じた。

渡利 正弘 (総合科学科)

『微分積分2—高専テキストシリーズ—』
(森北出版)

担当箇所: 偏導関数の応用、2重積分



本書は、森北出版から高専用の教科書として出版された5分冊のうちの一冊です。ちょうど、本科3年生で履修する科目「微積分Ⅱ」の内容に対応しています。執筆に際しては内容を幾つかのパートに分割し、1つのパートを2名が執筆し、それを合わせることで1つの原稿を作成してきました。その後、執筆者全員による修正を3回ほど繰り返して完成させました。多色刷りで見やすく、図が充実したものになっています。コラムも入っていますので、お手に取っていただければ幸いです。

貸出ランキング BEST10

2014年1月～12月



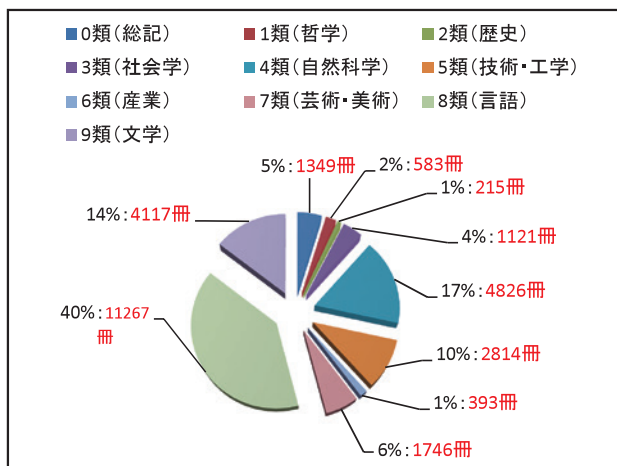
一般貸出

順位	回数	書名
1	37	相対性理論 / 中野薫夫著
2	36	下; ドグラ・マグラ / 夢野久作著
2	36	Python入門 / エスキュービズム [ほか] 著
4	33	Vol. 5; TOEIC テスト新公式問題集 / Educational Testing Service 著
4	33	相対性理論 / 杉山直著
6	32	相対性理論 30 講 / 戸田盛和著
6	32	みんなの Python / 柴田淳著
8	31	TOEIC テスト公式問題で学ぶボキャブラリー / Educational Testing Service 著
9	30	1 接触編; ゲート / 柳内たくみ [著]
10	29	上; Double (ダブル): 都会のトム&ソーヤ / はやみねかおる [著]
10	29	アルゴリズムパズル / Anany Levitin, Maria Levitin 著

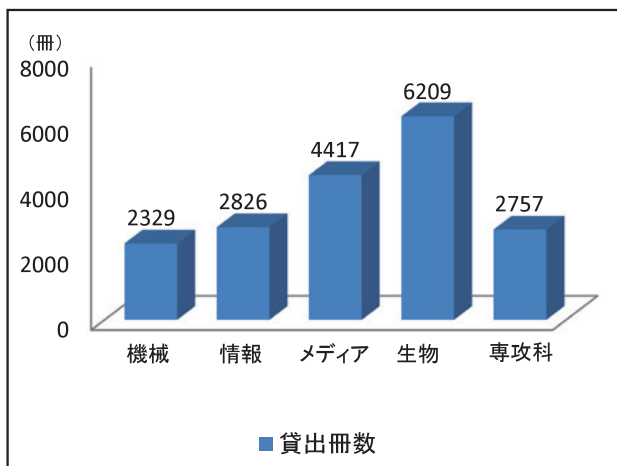
多読貸出

順位	回数	書名
1	42	Let me out! (Cambridge English readers ; starter level)
2	41	Harry Potter and the goblet of fire
3	33	Prisoner's dilemma
4	32	What a lottery! (Cambridge English readers ; starter level)
5	27	Run, Melos, run (洋販ラダーシリーズ ; Level 1)
5	27	The quest (Oxford reading tree ; Stage 9)
7	26	Storm castle (Oxford reading tree ; Stage 9)
8	25	Newspaper boy (Macmillan readers ; 2, beginner level)
8	25	Escape (Oxford bookworms starters)
10	24	The Penang file (Cambridge English readers ; starter level)
10	24	Ned Kelly (Oxford bookworms library ; True stories ; stage 1)

分類別貸出割合



学科別貸出状況



学生図書委員会委員長のコメント

新垣雄大 (機械3年)

沖縄高専には豊富な種類の本が納められており、学生はもちろん先生や学外の方でも本を借りることができます。この図書館の目玉は数多くの種類がある専門書です。これらの本は高専の先生が選んだものや図書委員が探してきたものです。専門書の数なら名護市の図書館にも負けていません。そして、授業でも使われている多読の本も図書館の自慢の本で、外国の子供向けの絵本がたくさんあります。他にも、雑誌や新聞、文芸書、英語のコミックなども置いてあります。百聞は一見にしかず、ぜひ図書館にきて借りてみてください。

学外者の方へ

沖縄高専図書館は、一般の方へも解放しています。また、「利用証」の発行を受ければ、図書の貸出しも可能です。「利用証」の発行には身分証 (運転免許証等) の提示と「図書館利用願」(図書館カウンターにて配布) への必要事項の記入が必要です。どうぞお気軽にご利用ください。



奥付

「沖縄高専図書館だより」(第7号)

発行日: 平成27年3月

編集・発行: 沖縄工業高等専門学校図書館
〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古905番地
TEL: 0980-55-4037 FAX: 0980-55-4067

図書館ホームページ

<http://www.okinawa-ct.ac.jp/toshokan/>